

臥牛サロン 新企画

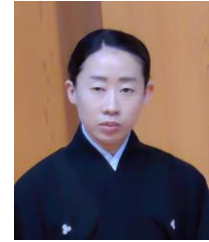
- 複数の曲に共通するテーマを解説し、各曲の謡と仕舞の見どころをたっぷりお楽しみ頂きます。
- サロンの開催は、奇数月（隔月）の下旬となります。
- 時間：18:30- 19:45前後
- 参加費：椅子指定席 3,000円、座布団自由席2,500円
- 次回： 11月18日（月）18:30～



出演者

田崎 甫
はじめ

シテ方宝生流職分
1988年 神奈川県生まれ、
叔父の宝生流能楽師 田崎
隆三に師事。2011年東京藝
術大学音楽学部邦楽科卒業、
20代宗家宝生和英の内弟子。
同年「金札」で初シテ。
2018年独立。九段「幸宝
会」主宰。2019年4月東京
藝術大学音楽学部教育研究
助手を拝任。



葛野 りさ
かどの

シテ方宝生流職分
平成元年生、富山県
富山市出身。20代宗
家宝生和英に師事。
平成23年東京藝術大
学音楽学部邦楽科卒
業。平成24年「清
経」ツレにて初舞台
を踏み、平成29年
「田村」で初シテ。

二〇一九年九月二十三日(月)

臥牛サロン 第十四回

秋の草花が謡われる能

プロデューサー

田崎 甫

(宝生流能楽師)

於 臥牛敷舞台

富士宮市栗倉南町一三二

舞台当主 高橋千洋

(富士宮市中央町在住)

【番組】

一 ご挨拶・独吟「木の実の段」

二 仕舞 女郎花クセ（おみなめし）シテ 田崎甫

三 仕舞 大江山（おおえやま）シテ 葛野りさ

四 仕舞 班女 舞アト（ほんじよ）シテ 田崎甫

五 仕舞 松虫キリ（まつむし）シテ 田崎甫



臥牛サロン次回ご予約・お問合せ

☎ 0545-38-9939 (たざき)

📠 090-2757-0620

一 『木の実の段』

- 1 拾ふ木の實は何々ぞ。 拾ふ木の實は何々ぞ。
古へ見馴れし。 車に似たるは嵐にもろき落椎。
3 歌人の家乃木の實には。 人丸乃垣穂の柿。
山の邊乃笹栗。 窓乃梅。 園の桃。
5 花の名にある桜麻の。
7 大小柑子金柑哀れ昔の恋しきは。
8 花橘の一枝花橘の一枝。

二 『女郎花クセ』

- 9 頼風心に思ふやう。 偕は我が妻の。
11 女郎花になりけるよと。
11 なほ花色もなつかしく。 草の袂も我が袖も。
露ふれそめて立ち寄れば。
13 此花恨みたるけしきにて。
夫の寄れば靡きのき又立ちのけばもとの如し。
15 ここによって貫之も。 男山の昔を思つて女郎花の一時を。 くなると書まし水茎の跡乃世までもなつかしや。 頼風其時に。

(続き) 『女郎花』

- 18 彼の哀れさを思ひとり。 無慙やな我故に。
19 よしなき水の泡と消えて徒なる身となるも。
偏に我が科ぞかし。
21 しかし浮世に住まぬまでと同じ道にならんとて。 つづいて此河に身を投げて。
23 とともに土中に籠めしより女塚に對して又男山と申すなり 其塚はこれ主は我幻ながら来りたり。 跡弔ひてたび給へ跡弔ひてたび給へ

三 『大江山』

- 26 偕おさかなは何々ぞ。
27 頃しも秋の山草桔梗刈萱仙蓼紫苑といふは何やらん。 鬼の醜草とは誰がつけし名なるぞ。
29 げにまこと。 げにまこと。 丹後丹波の境なる。 鬼が城も程近し。 頼もしたのもしや。
31 飲む酒は数そひぬ。 面も色づくか。
33 赤き酒の科ぞ。 鬼とな思しそよ。
34 恐れ給はで我に馴れ馴れ給はば。
興がる友と思し召せ。 我も其方の御姿。

(続き) 『大江山』

- 35 打ち見には。 打ちみには。 恐ろしげなれど。
37 馴れてつばいは山伏。 猶々廻る盃の。
37 度重れば有明の。 天も花に酔へりや。
39 足もとはよるよると。 ただよふかいざよふか。
雲折り敷きてそのまま。 目に見えぬ鬼の間に入り。 荒海の障子押しあけて。
41 夜の臥所に入りにつけり夜の臥所に入りにつけり。

五 『松虫キリ』

- 54 まり。 はたりちよう。
55 まりはたりちよう。
つづりさせてふまりぎりす蛸。
57 色々のいろ音の中に。
わきて我が忍ぶ松虫の聲りんりんりんとして。
59 夜の声冥々たり。

四 『班女舞アト』

- 43 月をかくして懐に。 持ちたる扇。
45 とる袖も三重がさね。 其色衣の。 つまのかね言。 かならずと夕暮の月日も重なり。
47 秋風は吹けども。
49 荻の葉のそよとの便りも聞かで。
鹿の音虫の音も。 かれがれの契り。
51 あらよしなや。 形見の扇より。 形見の扇より。
なほ裏表あるものは人心なりけるぞや。
扇とは空言や逢はでぞ恋は添ふものを逢はでぞ恋はそふものを。

- 61 すはや難波の鐘も明け方の。
あさまにもなりぬべしさらばよ友人名残のそでを。
63 そでを。
まねく尾花のほのかに見えし。
65 跡絶えて。
草茫茫たる朝の原の。
67 草茫茫たるあしたの原。
虫の音ばかりや。
69 残るらん虫の音ばかりや。
70 残るらん。